

地球温暖化防止部会2015年度活動報告

定例会合は毎月第3土曜日 14:00~16:00 イルミン(活動センター)

代表 本多進

1. エコライフデー

- ・用紙「エコライフデー2015夏と2015冬」チェックシートを埼玉県より無料で入手
- ・協力していただいた方々 入間ガス、ダイワハウス工業、JAいるま野、ほのぼのみなみ、環境アドバイザー、入間市環境まちづくり会議会員など。
- ・実施は2015年7月~9月、2015年12月~2月の2回、回収方法は直接受付と郵送
- ・参加者は前年度より少し増加 夏 880名 冬 983名 計 1863名、目標 2000名に達せず。
- ・CO2削減は夏は 861Kg 冬は 1052Kg 計 1913Kg であった。

2. ダイエットコンクール実施

「エコライフデー2015夏」チェックシートを利用し、東京電力の領収書にて電力の削減率上位10名と一人当たりの消費電力上位10名計20名に記念品(¥1000のギフト券)を送呈

3. 見学会:

(1) ゼロエミッションハウス(積水関東工場)とキューピーマヨネーズ(茨城県五霞町)見学 2015年6月3日(水)

- ・44名参加、大型バス利用、参加費 ¥3000
- ・ゼロエミッションハウスは2008年に開催された洞爺湖サミットで展示されたスマートハウスを見学
さまざまな省エネ・環境技術を組み合わせ理想的な「CO2 オフの暮らし」を体現するエコロジーな住宅
- ・キューピーマヨネーズでは1分間に600個のたまごを次々と割っていく光景にはみんなびっくり。全国のたまご生産量の10%をマヨネーズ製造に使用するという説明があり驚きであった。

(2) 航空自衛隊入間基地見学(西温ネット共催)2015年9月14日(月)

- ・38名参加、基地内の修武台記念館(入間基地博物館)で展示されていた特攻機「桜花」を観ることができた。

(3) 首都圏外郭放水路とキッコーマン醤油見学(春日部市・野田市) 2015年11月2日(月)

- ・45名参加、大型バス利用、参加費 ¥2500 申込みはハカギによる。定員オーバーだったため抽選
- ・キッコーマン醤油は身近な醤油工場の事を詳しく知ることが出来て良かったという感想が多かった。
- ・首都圏外郭放水路の地下貯水槽はさながら地下宮殿の様、四本の河川の増水した水を地下貯水槽に集め少しづつ放水し、洪水を防ぐ施設。稼働後は洪水が大幅に減少したという。

(4) ソマールゴムと水素ステーション見学(狭山環境市民ネットワーク共催)2015年11月5日(木)

- ・6名参加、ソマールゴムはウレタンゴム製品を製造している会社 又 600KW のソーラー発電をしている。
- ・水素ステーション(狭山市)では見学者が珍しいのか大歓迎を受けた。

(5) 本田技研狭山工場とロッテ狭山工場見学 2016年1月12日(火)

- ・13名参加、全員が初めて本田技研とロッテを見学
大型乗用車ステップワゴンの組立が日産700台

4. 家庭の電気器具の使用電力測定

- ・部会メンバーによる「節電エコチェッカー」で使用電力量を測定

5. 第4回いるま環境フェア:2015年6月14日(日)産業文化センター

- ・エコライフデーを楽しもう。(アンケート集計) 105名の参加があった。
- ・小水力発電の紹介、

- ・ごみひろい隊活動展示、ポイ捨て禁止など訴える。収集した4000本のタバコを展示

6. 第21回生涯学習フェスティバル:2015年12月6日(日) 産業文化センター

- ・エコライフデーを楽しもう。(アンケート集計) 210名の参加があった。

- ・ごみひろい隊活動展示、ポイ捨て禁止など訴える。収集した4000本のタバコを展示

7. ミニ環境講座 メンバーが自身が調べてきた内容を紹介、テーマ、時間は自由、今年度は以下の講座があった。

- ①再生可能エネルギーシリーズ、地熱発電、小水力発電、バイオマス発電、波力発電、海洋温度差発電
- ②LED電球
- ③フォルクスワーゲン問題
- ④福島第2原発の危機
- ⑤ウルトラファインバブル
- ⑥ドローン
- ⑦電力自由化
- ⑧COP21
- ⑨エマルジョン燃料
- ⑩プラスチックごみより燃料

以上



水素ステーション